

科名 外科 外科95(a')

対象疾患 胃癌

プロトコール名 HER+XELOX(2回目以降)

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	...	14	...	21
1	点滴注	メイン	生食	500mL	ルートキープ 残破棄可	↓				
2	点滴注	側管	トラスツズマブ	6mg/kg	初回90分。以降忍容性があれば30分。 ただし、初回にインフュージョンリアクションあ れば2回目60分。以降忍容性あれば30分。	↓				
			注射用水	7.2mL						
			生食	250mL						
3	点滴注	側管	パロノセトロンバッグ	0.75mg	30分かけて	↓				
			デキサート	9.9mg						
			ファモチジン	20mg						
			ネオレスタール	10mg						
4	点滴注	側管	オキサリプラチン	100mg/m ²	2時間かけて	↓				
			5%ブドウ糖液	500mL	ルート毎変更					
内服 ゼローダ 1回1000mg/m ² を1日2回 d1～d14投与、d15～d21は休薬										

★1クール=21日

～MEMO～

催吐レベル3(30%以上90%未満)

day2～4にデカドロン1回4mgを1日2回朝、昼食後に内服。(8mg/day)

<トラスツズマブ>

初回8mg/kg、2回目以降6mg/kg。初回90分で忍容性があれば2回目以降30分。ただし、初回にインフュージョンリアクションあれば2回目60分。以降忍容性あれば30分。

禁忌: アンスラサイクリン系との併用(心毒性の増強)

初回投与の40%にインフュージョンリアクションが認められる。投与開始後2時間は慎重に観察

三か月毎に心エコーで心機能を評価

最終投与から6週以上経過した場合は初回投与量(8mg/kg)より再開する。

<オキサリプラチン>

オキサリプラチンのアレルギー反応は他の薬剤と出現形態が違うので注意する。

(現在は4～16クール目、投与30分経過後に出現することが多いと報告されている。2007.10)

<ゼローダ>

14日間内服7日間休薬

1日2回内服、1回の投与量

体表面積(BSA)<1.36m²は1200mg/回(4Tab)

1.36m²≤BSA<1.66m²は1500mg/回(5Tab)

1.66m²≤BSA<1.96m²は1800mg/回(6Tab)

BSA≥1.96m²は2100mg/回(7Tab)